

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校 公共（帝国書院））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代社会に関して理解するとともに、実生活と関連する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 身の回りにある事象の意味や意義について多面的・多角的に考察できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 日々の学びと生活が密接に関わっていることを自覚し、授業の大切さを理解できるようにする。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校で学習する内容を理解し、さらに日常生活や社会環境と置き換えて考えることができる。	様々な社会的・歴史的諸事象に対し、自分の意見をまとめ、相手と議論を交わすことができる。	学びながら疑問を持ち、課題を発見し、解決に向けて学び続けることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 経済とその考え方 トレードオフと機会費用の例について、自身の日常生活の中で取り上げながら説明することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 経済活動の意義とトレードオフ・機会費用の考え方について説明できる。 【思考・判断・表現】 トレードオフと機会費用の例について、自身の日常生活の中で取り上げながら説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	6
	B 市場のメリットと限界 市場メカニズムについて、需要と供給の関係から価格が変動するしくみについて、自身の日常生活や社会環境と比較しながら説明することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 価格と需要・供給の関係について、理解している。 【思考・判断・表現】 市場経済の利点と限界について、日常生活や社会環境と比較しながら自分の意見をまとめ、相手と議論を交わすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 市場のメリットと限界 市場メカニズムが機能しない場合がある理由、「市場の失敗」について実社会での例を交えながら説明することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「小さな政府」と「大きな政府」の違いを理解し、市場メカニズムが機能しない場合について歴史的背景を踏まえて説明することができる。 【思考・判断・表現】 「市場の失敗」について実例を交えながら、その解決策に対して自分なりの意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	6
	D 企業の目的と役割 企業が担う活動の目的および社会で担う役割や責任について理解し、社会の変化に対応した企業のあり方について説明することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 企業活動の目的と株式会社のしくみ、また企業が果たさなくてはならない義務や責任について説明することができる。 【思考・判断・表現】 企業活動のしくみについて理解した上で、企業が市場経済の中で果たす影響力について、CSRやSDGsの観点から実際の企業の活動事例を交えながら自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学期	A 金融の役割 経済活動における金融の役割と金融政策について理解し、今後の社会における金融機関を取り巻く環境について実社会の現状を踏まえて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 金融市場と金融機関のしくみ、および金融政策と銀行の信用創造について説明することができる。 【思考・判断・表現】 国内外の金融機関が置かれている環境の現状を踏まえて、望ましい金融政策とはどのようなものかについて、自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 政府の役割と財政の機能 市場における政府の役割と財政の機能について理解し、財政政策が景気に与える影響と課題、税制のあり方について考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市場における政府の役割を理解した上で、財政の機能と景気の関連性について説明することができる。 【思考・判断・表現】 日本の財政の課題を踏まえて、望ましい税制のあり方について自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	10
C 社会保障の役割と意義 社会保障制度の役割と意義を理解した上で、日本の社会保障制度が置かれている現状と課題について、実生活と関連付けて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 社会保障制度の歴史と日本の社会保障制度について説明できる。 【思考・判断・表現】 社会保障制度が持続可能なものとなるための具体的な取り組みと制度上の課題について、実生活と関連付けながら自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	10	
3 学期	A 社会の基本原則と憲法の考え方 近代立憲主義の歴史を理解し、日本国憲法における基本的人権がどのように保障されているか、判例を踏まえながら理解することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代立憲主義の歴史の成立過程およびその原理を理解するとともに、日本国憲法で規定されている基本的人権について説明することができる。 【思考・判断・表現】 現代社会の中で人権に関する問題にはどのようなものがあるのかについて、過去の判例を踏まえながら自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	8
	B 民主社会と政治参加 政治権力の目的と議院内閣制のしくみを理解するとともに、国民の政治参加を促すためにはどのような課題があるのかについて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 議院内閣制と国会、選挙制度それぞれのしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 国民が政治に関心をもつためには現行の政治制度のどのような点に課題があるのかについて、自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
						合計	78

